

4 基本のポーズ

先ず、桶を持たずにチェックしてみましょう。

- * 踵を合わせ、つま先を30度くらい開き、左足を半歩下げます。
(または、右足を半歩前に出す。)

- * そして、桶太鼓を持った感じで両手を構えます。
桶太鼓を実際に持った場合、下半身がかすかに左(※1)に向きますが、上半身は正面を向くように構えます。

この時に、両肩・肘等は力を入れず自然体で。
身体のどこにも力は入らず、スクッと立つ感じ。
これがとても重要です。



~~~~~

(※1) 右・左について：

本人から見た右、他者が奏者を対面から見た右、は全く逆になります。

それを統一させるために、舞台を客席側から見た右(このテキスト上では画像の右側)を【上手(かみて)】と呼び、その反対を【下手(しもて)】と呼びます。これは全国共通の舞台用語です。

この講座で単に【右】【左】と呼ぶ場合は、本人から見たそれを指し、必要に応じて上手(かみて) 下手(しもて)を使います。

~~~~~